

ぎかいの話題

新型コロナウイルス感染症対策、豪雨災害からの復旧・復興など新年度予算の議論・要望

予算特別委員会のあらまし

議員全員で構成する予算特別委員会(山口雅夫委員長、城後徳太郎副委員長)を設置し、新年度の各会計予算及び条例議案等について、3月15日から22日までの実質6日間で審査を行いました。

委員会では、新型コロナウイルス感染症対策に関すること、令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興に向けた災害対策経費に関すること、大牟田市健康福祉総合計画の策定に関することなど、多種多様な面から活発な議論が交わされました。

審査の結果を委員長報告書にまとめ、3月25日の本会議ですべての予算議案及び条例議案を可決しました。

令和3年度各会計予算の概要(1万円未満切り捨て)

区分	予算額	対前年度当初比
一般会計	573億0,000万円	3.3%
特別会計	国民健康保険	146億8,086万円 2.2%
	介護保険	139億9,411万円 1.6%
	後期高齢者医療	21億3,695万円 1.8%
	病院事業債管理	12億4,129万円 26.5%
	水道事業	※1 41億1,035万円 △5.9%
公共下水道事業	※2 67億1,176万円 △19.7%	

※1 収益的支出 26億1,031万円
資本的支出 15億0,004万円

※2 収益的支出 33億8,303万円
資本的支出 33億2,873万円

予算特別委員会の主な意見・要望

全会派及び無所属委員全員による積極的な賛同により、議会の合意形成が図られた意見要望

1. 地域包括支援センターの適正な運用

地域包括支援センターの継続については、専門職の確保や引継ぎなどの諸問題もあることから、委託に加え市による直営を行うなどの様々な手法を取りながら、適正な運用になるよう指導されたい。

2. 小学校の給食調理室のエアコン設置

近年の猛暑により、給食室内が高温となる過酷な状況であり、調理員の健康や食材の衛生面を考慮する必要があることから、早急にエアコンの設置を検討されたい。

その他の意見・要望

◆シティプロモーションの推進

個別施設やイベント等の情報発信だけでなく、市の魅力を打ち出すため、企画力・発信力の向上に努めてほしい。

◆プラスチック製容器分別収集

令和3年10月からは市内全校区が対象となることから、柔軟な排出指導をするなど十分な周知・啓発を図ってほしい。

◆健康づくり活動支援事業

健康づくりの意識向上を図るため、ウオーキングアプリを活用できるように、スマートフォン操作の出張指導をしてほしい。

◆地区公民館のWi-Fi環境

特定の部屋周辺しか利用できないため、生涯学習と避難所機能を持つ施設として、館内全体で利用できるように整備してほしい。

◆男女共同参画の推進

諸外国と比較し、女性の社会参画の遅れが課題であるため、性別に関わりなく個性や能力が発揮できるジェンダー平等の実現に向け、着実に取り組んでほしい。

◆ドローンの整備

災害時の情報収集はもとより、通常業務でも幅広い分野で有効活用し、今年度の運用結果を基に整備の充実等も検討してほしい。

◆地域支え合いセンター

被災者支援は、生活再建の支援に加え、心や体のケアも必要であり、現在の相談会だけでなく、カフェやサロンなど気軽に集える場の提供をしてほしい。

◆ため池、井堰の管理

梅雨時期には、浸水対策として活用し、農業に利用していない箇所は、市の所管変更など効果的な管理方法を検討してほしい。